

千葉県立病院群

臨床研修プログラム



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

1 地域病院から専門病院まで
幅広くローテート

2 初期研修から常勤医採用までの
キャリアパス

3 一人一人の希望に応え
自由度の高いプログラム



「幅広く学べる研修プログラム」

2年目初期研修医 奥井一成

千葉県立病院群の初期研修は県内にある県立病院および協力病院をローテーションします。そのため、癌、循環器、脳神経、救急、小児、精神など各分野の専門病院であったり、地域の中核病院であったりと、専門的な医療から地域に根ざした一般的な医療まで多種多様な医療を経験できます。地域医療では礼文島を選択すれば、離島医療を体験することもできます。

また、二年目のローテーションは大部分を自分で決めることができ、自由度も高いです。将来の進路を踏まえた上でローテーションを組み立てることができますし、Common Diseaseをたくさん経験したい、もしくはは

一つの科を集中して学びたい等々の要望をかなえることも可能です。私は小児科と循環器で進路を迷っていたので、二年目の早い時期に千葉県立こども病院と循環器病センターをローテーションさせて頂きました。それぞれの科の特性ややりがいを専門病院で十分に経験・勉強することができ、どちらの科を専攻するかの参考になりましたし、悩む時間も十分に確保することができました。

この初期研修で学んだことはこれからの私の医師人生において必ず役に立つと思います。興味のある方は是非一度見学にいらして、実際に研修医の話を聞いてみてはいかがでしょうか。



千葉県では、県立7病院を中心に、公立病院などとも連携して研修を行う。研修医は複数の病院をローテートしながら、病院や地域ごとの違いを肌で感じ、臨床医として不可欠な柔軟性・コミュニケーション能力を身につけていく。

【基幹型】

がんセンター
(341床)

【協力型】

精神科医療センター
(50床)

【協力型】

救急医療センター
(100床)

【協力型】

循環器病センター
(220床)

各病院紹介

【協力型】

佐原病院 (241床)

【協力型】

千葉リハビリテーション
センター (242床)

【協力型】

こども病院 (224床)

「専門病院で全人的な医療を学ぶ」

プログラム責任者 千葉県がんセンター診療部長 高野英行

我々のプログラムの特徴は、地域中核病院と専門病院群をローテーションすることにあります。

臨床研修の2年間は長いようで短く、その中で学べることは限られます。その中で、患者さんのニーズを知ることは、自分の医師としての将来像を考える上で重要になります。地域病院でプライマリ・ケアの基礎を学び、専門病院では数多くの症例を実際に診察できます。地方の病院と都市の病院では、患者さんのニーズが異なります。一般病院と専門病院でも異なります。学生時代とは違って、多くの病院で働くことにより、地域や患者背景によるニーズの違いを発見することができます。多くの病院を経験することで、自分の目指す医師像を発見できるでしょう。

千葉県立病院群は、あなた方のキャリアパスまでを考えています。多くの先輩が、常勤医までの道筋をたどっています。千葉県では、医師確保のために待遇改善にも努めています。是非ともご応募ください。



病院見学
随時受付中!

応募・見学申し込み先

千葉県病院局経営管理課 臨床研修担当
〒260-8665 千葉市中央区市場町1番1号
■ TEL 043-223-3969 ■ FAX 043-225-9330
■ URL <http://www.chibakenritsubyoujin.jp/>
■ E-mail byoukei3@mz.pref.chiba.lg.jp



詳しくは、
ホームページを
ご覧ください